



学校だより

10月号(第02-07号)

令和2年10月30日
横浜市立高田中学校
校長 横田 由美子
TEL:591-4183

高田中学校にとって、今年の10月は活気にあふれた、まさに待ちに待った「行事月間」と呼べるひと月だったように思います。どの行事においても教職員も子どもたちも一生懸命に準備をし、思い切り楽しみ、仲間との絆を感じ、やりきった感と「たか中愛」を育むことができていたように感じます。コロナに負けず、行事をあきらめずにやりきった高田中学の子どもたちを誇りに、頼もしく思います。



「花と緑の会」の皆さまのお陰でロビーがハロウィン模様です。

【3年生～修学旅行】

「なんとか実施できないものか」。皆が悩みに悩み、話し合いを重ね、保護者の皆さまの理解を得て、実現できた横浜市初の日帰り京都修学旅行でした。互いを思いやり大切にしよう様子が伝わってきた結団式や、その後の教室での3年生全員トランプ大会の大盛り上がりは、忘れられない一コマとして緑学年の記憶に刻まれたのではないのでしょうか。

わがくこそう 和学誇創～和を学び誇れる未来を創るために～

修学旅行実行委員会 委員長 新井 和人

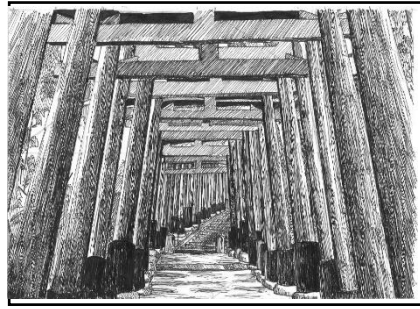
2020年10月9日、私たち緑学年は、京都へ修学旅行に行きました。今年度の修学旅行は日帰りとなりましたが、私たちが1年生のときから楽しみにしていた修学旅行が中止にならずに済んで、とても嬉しく思っています。

私たちは1年生の時に自然教室、2年生の時に川崎・鎌倉校外学習に行きました。その時にできたこと、よかったことがあったと思いますが、一人ひとりに反省点やうまくできなかったことなどもあったと思います。そういった反省点を改善して、楽しむ時は全力で楽しむ、静かにする時は静かにして、緑学年の全員が楽しかったといえる思い出になるような修学旅行を創っていきたくと、実行委員会で決めたスローガンが「和学誇創」です。

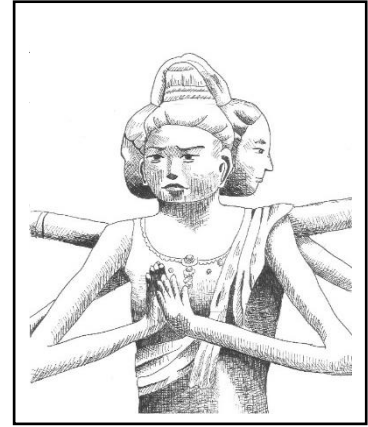
日帰りの修学旅行という、例年とは違う形になりましたが、みんな臨機応変に対応できていたと思います。また、一人ひとりの心に残る、最高の思い出になったと思います。修学旅行を最高の形で終わることができたのは、緑学年全員のお陰です。緑学年のみなさん、お疲れ様でした。本当に、ありがとうございました。



1 組安田風音さん（金賞）



2 組芹田舞さん（銀賞）



3 組中田倫加さん（銀賞）

* 休校期間中に、3 学年全生徒が描いた線画作品の中から、3 学年生徒の投票で選ばれたしおり表紙絵入賞作品 3 点です

【2年生～鎌倉校外学習】

今年の鎌倉校外学習は飲食店での昼食ではなく、テイクアウトできるお店で買ったランチやお弁当を、予約しておいた昼食会場ですとる新しいスタイルとなりました。楽しそうな笑顔がたくさん見られ、来年の修学旅行に向けた学びもしっかりとできました。

鎌倉校外学習を振り返って

鎌倉校外学習実行委員会 委員長 富本 晃行

今回の鎌倉校外学習は雨の中でしたが、しっかりと行動できていたと思います。実行委員長から見て、今回の鎌倉校外学習は成功だったと思います。それは、雨の日ということもあり、当日は観光客が普段よりも少なかったからです。そのため、昔ながらの鎌倉の雰囲気を感じたり、鎌倉ならではの食べ物やお土産に触れたりすることができました。

一部の班は、時間に遅れてしまったこともありました。大きな問題はありませんでした。電車やバスの車内での過ごし方に課題が残ったので、次の修学旅行では、車内でのマナーに気を付けて行動したいです。

【1年生～学年レク】

今年度はコロナの影響で自然教室がなくなってしまい、子どもたちが楽しみにしていた行事が一つなくなってしまったので、学級委員会のほうで学年レクを企画してもらいました。初めて自分たちで行事の企画・運営を行うこともあり、自分たちでしっかりと進めていけるのか心配していましたが、なんの問題もなく、むしろ自ら率先して「どのようにしたらみんなが楽しんでもらえるのか」を常に考えながら、放課後まで残って試行錯誤してくれていました。



当日は、あいにくの雨でしたが、“中線踏み”と“ドッジボール”を行い、進行から審判に至るまで全てを学級委員の6人でとてもスムーズに活動してくれました。レク終了後には、「とても楽しかった」「学級委員お疲れ様」の声があり、学級委員たちも、とても達成感を感じていたように思います。初めての行事は大成功だったと思います。



大成功に終わった学年レク～

1年学級委員会 委員長 河内 慶太

今年度は自然教室に代わり、学級委員主催の学年レクを行いました。

私たち学級委員がアイデアを出したりアンケートをとったりして、一から企画・運営をしました。雨のため体育館を使ってでしたが、ドッジボールと中線踏みを楽しみました。有志のダンスとユニークな選手宣誓で始まり、短い時間でしたが2競技とも白熱した戦いが繰り広げられました。

事前の準備から当日の審判まで委員6人でやりきるのは大変でしたが、学年のみんなの協力もあり、大成功に終わりました。特に競技後、多くの人楽しかった！という感想をもってくれたことがとても嬉しかったです。

今回深まった学級や学年の絆を今後の活動に活かしていきたいと思います。1年生の皆さんも、ご協力ありがとうございました。

【高田祭（運動の部、文化の部）開催】

運動の部：秋晴れの下、笑顔があふれた体育祭でした。生徒も種目の企画から参加し、密とぶつかりを避けた、今年ならではのスタイルでした。

文化の部：横浜市温暖化対策統括本部高橋課長からの「SDGsでのtransformationとlocalizationの大切さ」の学び、吹奏楽部演奏、人権作文発表に校内オーディションを勝ち抜いた有志チームの見事なパフォーマンスにと、学びと楽しさが満載の充実した時間となりました。学年毎ローテーションでの「ライブ配信視聴参加」チャレンジもなんとか成功し、校内あちこちにステージの映像と音が流れました。



体育祭を終えて～

体育祭実行委員会 委員長 中田 倫加

今年のスローガンは、「We can do it～仲間と協力して頑張ろう～」でした。そのスローガン通り、それぞれのクラスが、「私たちはできる！」という思いを大切に頑張れたと思います。学年種目では、去年と違って、大縄がありました。まわし方や跳び方にもクラスでの工夫が見られて、とても盛り上がる種目となりました。

コロナウイルスの影響で例年と違っていた所が複数ある中、臨機応変に対応することができて、とても楽しい体育祭を創りあげることができました。私自身も実行委員長として、選手宣誓や聖火ランナーなど、とても充実した日を過ごすことができました。

準備や片付けも含めて、学級専門委員会や部活動などから、たくさんの協力があったおかげで、無事に体育祭を終えることができたことに、心から感謝しています。みなさん、ありがとうございました。



高田祭を終えて～

高田祭実行委員会 委員長 別府 碧波

私は3年間、高田祭実行委員会に所属しました。そして、委員長になった今年の委員会で心がけた事があります。それは先輩・後輩関係なく、自由に話し合える雰囲気にする事です。例えば、最初は委員会内で温度差があったので、委員会全体のイメージをそろえようと、積極的にコミュニケーションをとる事を心がけました。その結果、団結する事ができて、自由に話せる雰囲気になったと思います。

この委員会を通して学んだ事は、自分が全て決めて行動するのではなくて、メンバーの得意・不得意を理解して仕事を任せる事ができると、みんなで一層協力できるという事です。

そして、本番ではリハーサルよりも良い内容にする事ができて、たくさんの笑顔を見る事ができました。これは、メンバー一人ひとりが、リハーサルでは自分のことで精一杯だったのが、本番では周りのことも考えて、臨機応変に行動できたからだと思います。

高田祭を通して私は、仲間と協力する事の大切さや、一人では創れないものも仲間と協力する事で、創れるのだという素晴らしさを体験しました。



令和2年度 スローガン



ライブ配信視聴参加



高田祭フィナーレ

【お知らせ】

数学科担当の落合佑香教諭の出産休暇に伴い、2学年の数学科教員として11月2日から上條秀一教諭が授業を行うことになりました。どうぞよろしくお願いたします。